

英語暗唱大会に3人の生徒さんが参加してくれました!

先月行われた梅花中学校主催の英語暗唱大会「BAIKA CUP」に、今年は3人の生徒さんが果敢に挑戦してくれました! 8年前から始まった暗唱大会ですが、毎年参加者の数が増え、それに伴いレベルも年々高くなっています。英語の発音だけではなく、個性とパフォーマンスもカウントされ、人の前でスピーチする技術が鍛えられるとってもよい機会となっています。

さて、この暗唱大会に挑戦してくれた勇氣ある3人の生徒さん。短い練習期間の間に、驚くほど実力が伸びました! 日本人にとっては難しい、f, o, rなどの発音も、日々の地道な努力の成果で、あっという間に矯正され、本番前にはみなネイティブ並みの発音で、しかも大きな声で堂々と暗唱大会に挑む事ができました! 改めて10歳前後の子供達の吸収力と柔軟性に驚かされたり、打てば響くような反応の素晴らしさに、唖らされたりする日々でした。本人の努力、やる気、そして保護者の方々の日々のサポートを肌で感じ、私達スタッフも、大いに励まされました。なんといっても、子供達が練習を重ねる度に自信が付き、英語を発話する事を楽しんでいる姿に感動いたしました。

皆練習の段階から楽しんでいた様子が印象的でしたが、本番でも楽しく実力を出しきれたと聞き、感心しています。そして大会後の皆の顔を見た時に、英語を話す自信がついたことが一目で分かりました。今後も様々な事に挑戦して、世界に羽ばたいて行って下さいね!



AMI

本番では頑張ってた練習したとおりにできて良かったです。他の出場者の人達の表現が凄くてびっくりしました。次はもっと観ている人達の印象に残るような発表をしたいと思います。



AYANE

出場前は緊張するのではないかと心配でしたが、練習するうちに自信が付き本番では楽しかったです。予選通過者の人達のジェスチャーが凄くて、少し圧倒されました。



YUHIRA

最初少し緊張しましたが、とても楽しかったです。練習よりも良くてきたので、本戦に出ることができたと思います。

最新情報・お知らせ

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●南ウッディタウン駅前校へお車でご来校される場合は、エルムプラザの駐車場をご利用下さい。建物前の駐車場は使用禁止です。

●英検対策講座の受講料は、5級は8月、4級と3級は9月のお月謝と一緒に引き落とさせていただきます。

●英検集中講座が始まっています。4級・3級の講座は9月に予定しています。英検にチャレンジしたい方はぜひお申込み下さい。受講料は郵貯銀行より、お月謝と一緒に引き落とさせていただきます。

●8月12日～17日は夏季休暇のため、すべてのクラスはお休みです。

●英検受験(10月6日(日))希望の方は早めにスクールまでお知らせください。今回は5級～3級受験となります。英検Jrは10月頃を予定しています。

●《8～9月の振替日》9月以降は振替ページをご参照下さい。
<https://airrsv.net/arkacademy/calendar>

スーパーキッズ	8月24日(土) 9月21日(土)
キッズ①&①+	8月31日(土) 9月28日(土)
キッズ②&②+	8月20日(火) 9月17日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	8月27日(火) 9月24日(火)
バイリンガル/中学生	8月3日(土) 9月7日(土)

ARK ACADEMY

アークアカデミー英会話教室

三田市あかしあ台4-8-1

Tel / Fax : 079-563-3132

Email: info.ark.academy@gmail.com

ホームページ「アークアカデミー英会話教室」で検索

フェイスブック: www.facebook.com/ark.academy.sanda



アークアカデミー通信

News Letter Aug 2019

Vol.107



★Contents★

- はじめに ■英語暗唱大会の報告
- ワクワクインターシップ
- 今月の誕生日 ■英語習得の要はインプット
- 8月のスクールカレンダー ■新情報・お知らせ

はじめに

中学生は本当に忙しい・・・部活に塾、テストの多さにもびっくりしてしまいます。夏休みが終わった後もすぐテストがあるそうで、ゆっくり夏を楽しむ時間なんてない、と生徒さんが呟いていました。

さて、広島県では公立高校の入試において、内申点を使わない制度への変更を検討し始めたそうです。現在公立高校の入試で内申点を使っていない都道府県はないので、もしそうなればとても画期的なことだと思います。県教委(教育長)は「内申書をめぐっては、教員の評価を気にするあまり、生徒の自由な発言や行動が抑制されるなど、萎縮につながっているという指摘などもあり、これらをふまえた議論を行います」と言っていました。

内申点って先生によって基準はバラバラ・・・いわゆる先生の「お気に入り」にならないと最高点の5はもらえないという話も聞いています。生徒たちは先生の顔を伺ったり、媚を売ることによって一生懸命になります。素晴らしい先生もたくさんいらっしゃると思いますが、先生によっては(当然力量の劣る教師がほとんどなわけですが)、内申点を盾に生徒を脅すようなこともあるそうで、深い傷を負っている生徒さんを何人も知っています。

中学の英語のテスト、まったく理不尽だと思う事はしばしばですが、内申点が悪くなるので先生に相談もできないんです、と悲しそうにある生徒さんが話してくれました。正解でも教科書に出ていなければ×、和訳はきれいな日本語でないと×。漢字が間違つと×(英語のテストですよ??)。ヒアリングテストは先生が自分の声を録音しているので、あまりに発音がひどく聞き取れない・・・(涙)。2020年に控えた英語教育改革、どこまで本気なのでしょうか。10代は語学学習最高の時期。その柔軟な時期に、重箱の隅をつつくような教育では、子供達があまりに可哀そうです。内申点廃止の動きが全国に広まり、生徒も先生も保護者も、この重荷から解放されるといいですね!

英語習得の要はインプット！

本屋さんに行くと英語の勉強法に関する本の多さにびっくりします。インターネットをみても情報に溢れています。「まず文法から」「単語を覚える」「発音重視」等、結局どれがいいの？？と言いたくなっていませんか？日本にいながら英語がペラペラに、なんてキャッチフレーズも多く見られるのですが、一個人の成功がすべての人の成功へと繋がるもの、私も「おうち英語」を成功された方の本をたくさん読みましたが、うちの子にはあてはまらないな〜と、ガクツとした経験も少なくはありません。

第2言語習得 SLA(Second Language Acquisition)は、その名の通り、人間がどうやって母国語以外の言語(6歳以降で習得する言語)を習得するかについて研究する学問の事を指しています。第2言語習得のメカニズム・過程を研究し、心理学・行動科学・言語学などの様々な領域から「どんな方法が語学学習に最も効果的なのか」を科学的に解明していくものです。

特に移民の多いアメリカやヨーロッパ等を中心に、ここ数十年の間で研究が急速に進んでいます。アークでも取り入れている多読のアプリは、多くのアメリカの小学校で教科書として導入されていますが、使えば使うほどよくできているな〜と感心しています。第2言語を習得する子供達が系統的に英語(スペイン語も勉強できます)を習得できるよう、工夫されていると思います。

ちなみに日本の学校教育は単語の暗記と文法が中心。そもそも日本に英語が導入されたのは「翻訳」する事が中心だったので、単語・文法に赴きが置かれたのは当然だったかとは思いますが、しかしながら、対話能力が求められる今の時代に、戦前より同じ教育がまだに行われていることにびっくりしてしまいます。

さて、この数十年の研究・検証の結果、第2言語を習得するにあたり、何が重要なかが分かってきました。それはインプット。インプットの量が言語習得に関し何より大事な要素だという事が、実証・実験・検証を通し、明らかにされてきたのです。

赤ちゃんの言葉を学んでいく過程でもそれは観察されますよね。だいたい1歳半から2歳くらいになると、単語を発するようになりますが、それまではひたすら周りの音や言葉をインプットしています。3歳くらいになると、単語だけではなく、短いフレーズでしゃべれるようになりますが、大人のしゃべる複雑な言葉は理解しています。聞いて分かるけれど、それが自分の言葉として発せられるようになるには、長い年月が必要になってきます。母国語においてもインプット10:アウトプット1ができればたいしたものだと思います。ちなみにアインシュタインは4歳まで言葉をしゃべらなかつたそうですが、ある日突然普通にしゃべり始めたそうです。

アメリカで行われたロシア語の学習実験では、最初から「聞く・話す」を12週間学習した生徒より、最初の4週間をインプットに集中させ、あとの8週間を「聞く・話す」を学習した生徒の方が、はるかに「話す」力も含めた総合力が上回っていたそうです。

また、インプットは「聞き流し」「読み流し」も悪くはないですが、アウトプットを意識したインプットははるかに効果的だという事も明らかにされていっています。読んだことをディスカッションする、聞き取った言葉を言ってみる・書いてみる、などを意識すると、聞き方・読み方が濃密になってきます。最近ではインターネットの発達で、英語がいつでも聞ける環境になってきました。「いつでも聞ける」状況は意識しないと気が緩んでしまうもの。「一回しか聞けない、聞いた音を書き取らなきゃいけない」状況とでは、聞き方の質は違ってきます。ピアノやバレーなどの習い事も、発表会が前提だと練習に取り組む姿勢は変わってきますよね。

アークアカデミーでも、アウトプットを意識したインプットの練習を兼ねて、「英語暗唱大会」を秋に企画したいと思っています。「英語で多読クラブ」では、年に一度の参観日に英語の暗唱やプレゼンテーションをしてもらうのですが、人前で発表する事が前提だと、英語への意識が変わってきたなと実感しています。

詳細は後日発表しますが、ぜひたくさんのお生徒さんに参加していただきたいと思っています。



英語で多読クラブの受講生による ワクワクインターシッ

去年に引き続き、今年も「英語で多読クラブ」の受講生有志によるワクワクインターシッが8月に企画されます。

インターシッは「職業訓練制度」と訳される事が多いですが、幼稚園クラスや、小学校低学年クラスにボランティアとして参加し、英語の絵本を読んだり、英語学習のお手伝いをしながら、英語のアウトプットを実践してもらう事が狙いです。英語は使ってこそ身に付くもの、自己完結で満足していると実力は伸びません。インプットした英語をアウトプットする事によって、体に英語が浸み込み、英語を英語で理解できる力がついてきます。でもこの企画は、英語学習だけが目的ではなく、自分が誰かの役に立ち喜んでもらえたという経験を通して、子供達に健全な自尊心を育ててもらいたい、というのが私達の願いでもあります。たくさん遊んで、たくさん学んで、大きく成長する素敵な夏になるといいですね！



今月の Happy Birthday



おめでとうございます！



8月のスクールカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※8月5日～8月9日はサマースクールです。